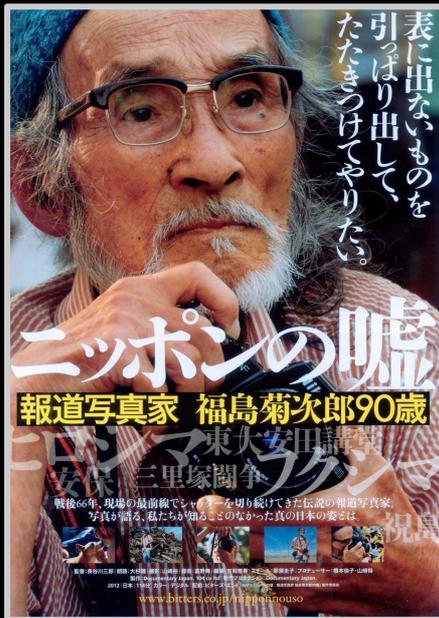
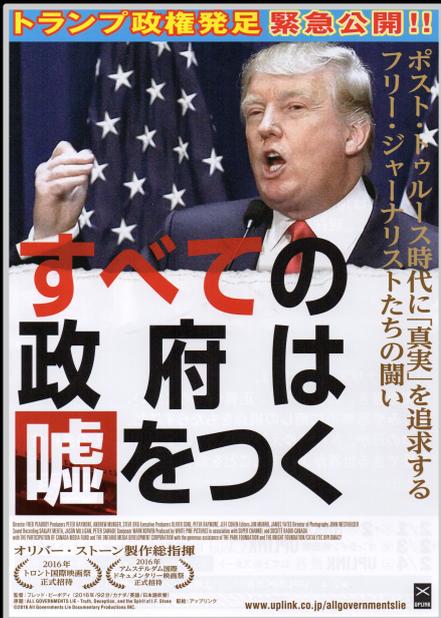


# 憲法映画祭2018



4月29日(日) 10:00~20:00 国立オリンピック記念青少年総合センター セミナーホール

アメリカの嘘、ニッポンの嘘、政治の嘘

「すべての政府は嘘をつく」「ニッポンの嘘」「東京裁判」



4月30日(休) 10:00~18:30 国立オリンピック記念青少年総合センター セミナーホール

民主主義って何だ? 希望と勇気を探す旅

「NO」「ハトは泣いている」「トランプのアメリカ(仮題)」

お話「市民自治、民主主義、憲法」  
上原公子さん(元 国立市長)

主催：憲法を考える映画の会

連絡先：〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-5-6-303

TEL: 042-406-0502 E-mail: hanasaki33@me.com

ホームページ: <http://kenpou-eiga.com> Facebook: 憲法を考える映画の会

# 憲法映画祭 2018 (4月29日 30日)

- 国立オリンピック記念青少年総合センター セミナーホール (小田急線 参宮橋駅 徒歩7分)
- 入場券 (一日券) : 一般 2000円 学生 1000円

4月29日 (日) 10時00分～20時00分 アメリカの嘘 日本の嘘 政治の嘘



10:00～ 「すべての政府は嘘をつく」 (110分・2016年 カナダ)

公益よりも私益に走り、権力の欺瞞を追及しない大手メディア。それに抗い、鋭い調査報道で真実を伝えるフリージャーナリストたちが今、世界を変えようとしている。彼らに多大な影響を与えたのが、1920～80年代に活躍した米国人ジャーナリストのI.F.ストーンだった。彼は「すべての政府は嘘をつく」という信念のもと、組織に属さず、地道な調査によってベトナム戦争をめぐる嘘などを次々と暴いていった。



12:40～ 「ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳」 (114分・2012年 日本)

「表に出ないものを引っ張り出して、たたきつけてやりたい」  
「問題自体が法を犯したものであれば、報道カメラマンは法を犯しても構わない」  
戦後66年、現場の最前線でシャッターを切り続けてきた「伝説」の報道写真家。写真が語る、私たちが知ることがなかった真の日本の姿とは。戦後日本のあり方を問い続け、メディアが報じない真実や国家の嘘を暴いてきた反骨の報道写真家、福島菊次郎に密着したドキュメンタリー。



15:00～ 「東京裁判」 (277分・1983年 日本)

第二次世界大戦後の昭和23年、市ヶ谷の旧陸軍省参謀本部において開廷された「極東国際軍事裁判」。「東京裁判」とも呼ばれるこの裁判の模様は、アメリカの国防総省により、第二次世界大戦の記録として丹念に撮影・収録され、ひそかに保管されていた。解禁されたフィルムには法廷内のみならず、ヨーロッパ戦線、日中戦争、太平洋戦争などの記録も収められていた。『できるだけ客観的に後世に真実を伝えたい。戦前のニュース映画や、諸外国のフィルムも入れて、昭和激動期の民族の変転をじっと見つめたい』という小林正樹監督のもと、制作期間5年を経て、映画『東京裁判』は、ついに完成。

4月30日 (休) 10時30分～18時30分 民主主義って何だ？ 希望と勇気を探す旅



10:00～ 「NO」 (108分・2012年 チリ/アメリカ/メキシコ)

「まだまだやれる、私たちも。真っ直ぐに熱く、けれどユーモアを忘れずに。諦めない、あとざりしない、希望を置き去りにしない、沈黙は破るためにある……。本作品を観て、そう再確認した。」(落合恵子)  
1988年、チリのピノチェト独裁政権の是非をめぐって国民投票が実施される。メディアまでも、ほぼ手中におさめている政権だが、国際的な批判をかわすかのように、国民投票までの27日間、深夜のテレビで、反対派、賛成派ともに1日15分のキャンペーン映像を流すことになる。資金力に乏しい、もともと勝ち目のない反対派だが新しい感覚で、楽しい、明るいキャンペーンを作り、これが評判になっていく。



12:40～ 「ハトは泣いている 時代(とき)の肖像」 (123分・2017年 日本)

「公正中立」って何だ？ 民主主義って何だ？ 浮き彫りにされるキナ臭い時代状況。  
「都美術館事件」と「九条俳句事件」。芸術を通じた社会参加を問う彫刻家と俳句掲載を求める市民の運動は、それぞれに先の戦争の記憶にあったキナ臭さをかき取り、行政の付度かもたらす表現の自由、人権への侵害、「公平中立」の論理的破綻をあらわにしていく。彼らの声は共に、この時代、過去をどう総括し、憲法九条と平和を守るために私たちは何をするのか、何ができるかを問いかける。



15:10～ お話「市民自治 民主主義 憲法」上原公子さん (元 国立市長)

16:20～ 「トランプのアメリカ 希望と勇気を探す旅」 (90分・2018年 日本)

トランプ大統領の誕生！ 予想外の事態に広がる疑問と懸念。日米関係は？ 核戦争の危険性は？ 自由と民主主義・人権は？ 不安と脅威が強まる中、映画「ザ・思いやり」のラン・バクレー監督がコメディアン、松元ヒロを道連れに希望と勇気を探し求めて「トランプランド」を旅するドキュメンタリー。共和党や民主党支持者、退役軍人、黒人活動家との交流や全米ライフル協会訪問など内容盛りだくさん！ 4月完成 本邦初公開！！

「日本軍」の復活、戦争の準備ともいえる日本国憲法改憲の準備が着々と進められています。そうした今の政治、社会の状況の中で私たちはどうしたらよいのか？ 29日は「政治の嘘、戦後の日米関係」、30日は「市民の自主的な運動」を中心に、どのように憲法や政治を自分たちの問題にしていくことができるのか、71年目の憲法記念日を前に「映画から憲法を考えたい」と思います。

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター セミナーホール →

- 東京都渋谷区代々木神園町3-1
- ・小田急線 参宮橋駅下車 徒歩 7分
- ・地下鉄千代田線 代々木公園駅 徒歩 10分
- ・京王バス 新宿駅西口(16番)より 渋谷駅西口行き
- ・京王バス 渋谷駅西口(40番)より 新宿西口行き
- ともに「代々木5丁目」停留所 下車 徒歩 1分

